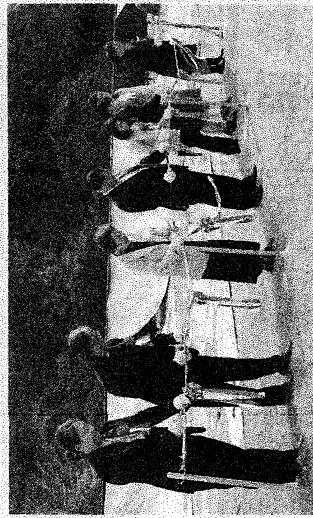




岳南朝日新聞社
〒418-0036
富士宮市野中東町46-1

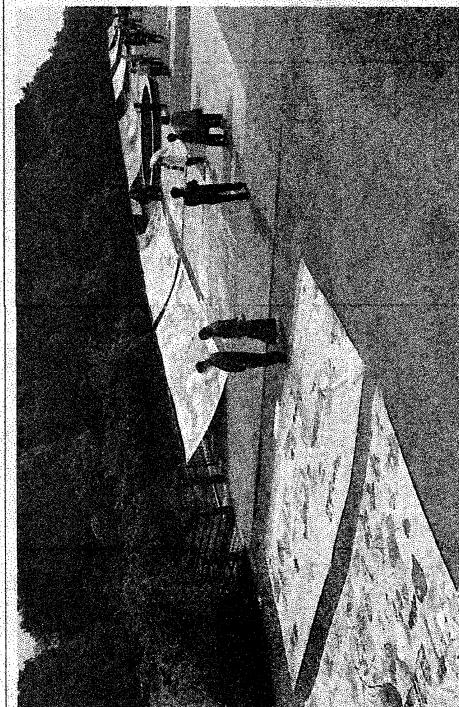


式典では、富士宮北高校2年生の杉山奏さん(富士宮市)が司会を務め、富士山交響楽団の舟山奏さんが広島で被爆した「被爆バイオリン」を演奏し『鳥の歌』と『花咲く』を披露。ティーパカットで展示の開催を告げ、キッズゲルニカ国際委員会の金田卓也委員長、各国の来賓らが平和への願いとギズゲルニカへの思いを語った。

須藤秀忠市長は「開催を地元の市長として嬉しいと思う。いずれの作品も世界の平和と安寧安全な日常、将来へ心を向けてから86年経た今も、争いや紛争が續いていますが、富士山の麓から世界平和を願う子供たちのメッセージを皆さんと一緒に見て発信していきたい」と呼びかけた。

富士山麓から世界和平発信 白糸ノ滝でキッズゲルニカ展 初日に開幕セレモニー

「富士山麓から世界和平を祝するキッズゲルニカ展」が19日まで、富士宮市上井出の白糸ノ滝芝生広場で行われている。展示に先立ち5日には、国内外の来賓が出席しオープニングセレモニーが開かれた。キッズゲルニカは空爆の悲惨な状況を描いたビンゴの作品『ゲルニカ』にならない、継3.



芝生広場に展示されているキッズゲルニカの作品

一方で、多くの子供たちが悲惨な状況に追いやられ悲劇が後を絶たない」と嘆き、「絵を介して人と人とのつながりが広がることは、この活動の喜びであり目指すところ。戦禍の中の子供たちが夢に満ち、安全で楽しい幸せな生活が送れることを目指し、子供たちと共に活動を続けていきたかった。今後メッセージを強く世界に発信したい」と決意を新たにした。

内閣が描かれ、今年度は内閣、富士宮西高校の呼びかけで始まつた。昨年度は市内で6枚が描かれた4枚に加え広島、長崎、スペインのゲルニカ、ウクライナのチャ、パレスチナのガザなど国内外各地で制作された作品と合わせ18枚が飾られている。

富士特別支援学校富士宮分校、富士宮高校で「QUOKKAアートエイド」の作品が制作された。富士宮市でのキッズゲルニカに関する活動は、同市国際交流アートバイザーの渡邊実さと、昨年度は市内で6枚が描かれた4枚に加え広島、長崎、スペインのゲルニカ、ウクライナのチャ、パレスチナのガザなど国内外各地で制作された作品と合わせ18枚が飾られている。

須藤秀忠市長は「開催を地元の市長として嬉しいと思う。いずれの作品も世界の平和と安寧安全な日常、将来へ心を向けてから86年経た今も、争いや紛争が續いていますが、富士山の麓から世界平和を願う子供たちのメッセージを皆さんと一緒に見て発信していきたい」と呼びかけた。

5枚、幅7・8㍍のキャンバスに子供たちが国際的なアートプロジェクトを込めて絵を描く。国際アートプロジェクトは、同市国際交流アートバイザーの渡邊実さと、昨年度は市内で6枚が描かれた4枚に加え広島、長崎、スペインのゲルニカ、ウクライナのチャ、パレスチナのガザなど国内外各地で制作された作品と合わせ18枚が飾られている。

富士特別支援学校富士宮分校、富士宮高校で「QUOKKAアートエイド」の作品が制作された。富士宮市でのキッズゲルニカに関する活動は、同市国際交流アートバイザーの渡邊実さと、昨年度は市内で6枚が描かれた4枚に加え広島、長崎、スペインのゲルニカ、ウクライナのチャ、パレスチナのガザなど国内外各地で制作された作品と合わせ18枚が飾られている。

須藤秀忠市長は「開催を地元の市長として嬉しいと思う。いずれの作品も世界の平和と安寧安全な日常、将来へ心を向けてから86年経た今も、争いや紛争が續いていますが、富士山の麓から世界平和を願う子供たちのメッセージを皆さんと一緒に見て発信していきたい」と呼びかけた。